

障害者職業能力開発校の 在り方に関する検討会（第1回）	資料 3-1
令和7年1月20日	

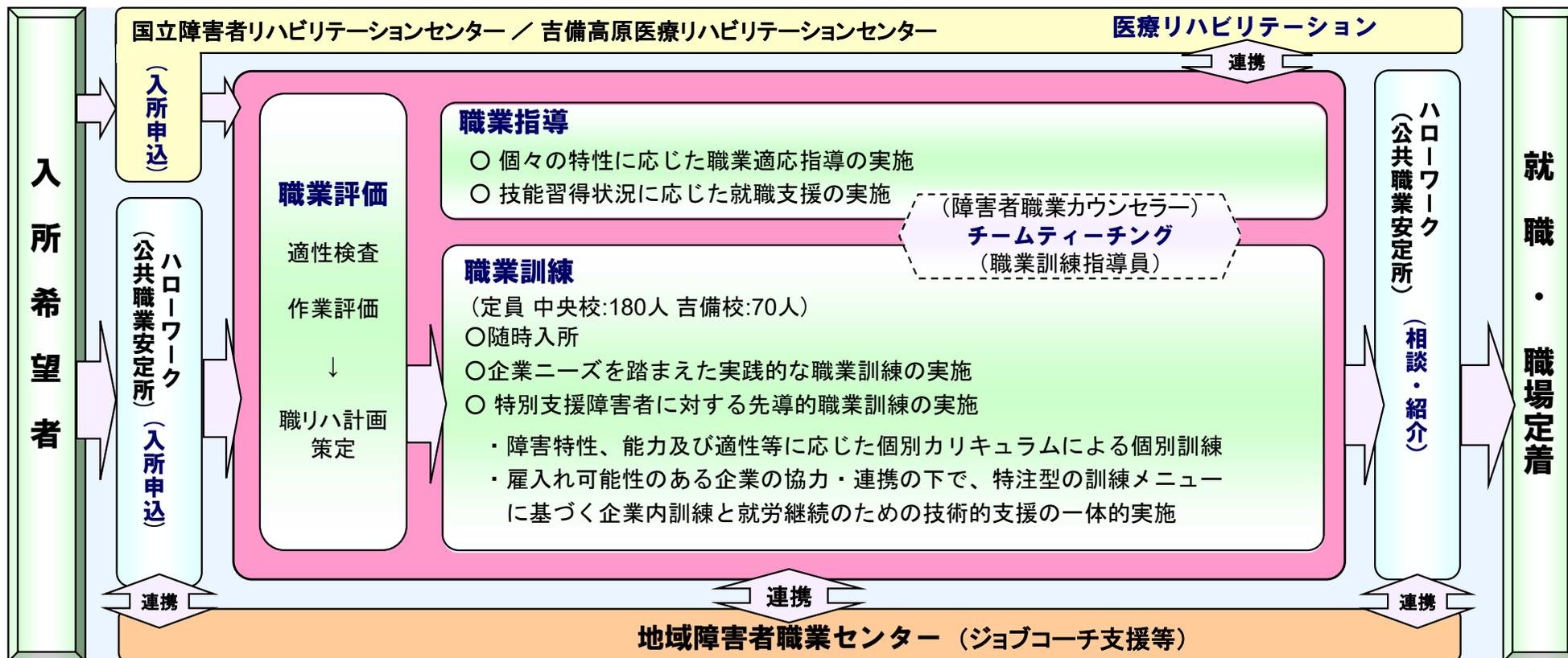
機構営障害者職業訓練校の概要及び 同校で行われている職業訓練に関する指導法の開発・普及

機構が運営する障害者職業能力開発校と広域障害者職業センターの概要

○全国の広範な地域から「職業訓練上特別な支援を要する障害者（特別支援障害者）を重点的に受け入れ、職業評価から職業訓練、職業指導までの一貫した職業リハビリテーション及び先導的な職業訓練を実施

国立職業リハビリテーションセンター（中央校） 埼玉県所沢市：昭和54年開設

国立吉備高原職業リハビリテーションセンター（吉備校） 岡山県吉備中央町：昭和62年開設



○他の職業能力開発校等への指導技法等の普及推進、特別支援障害者等向け訓練コースの設置・運営を支援

①「障害者職業訓練推進交流プラザ」の開催

全国の障害者職業訓練に携わる指導員等を参集し事例発表、指導技法等の解説やグループ別検討会による情報交換等を行う。

②「指導技法等体験プログラム」の実施

両センターにおいて他の職業能力開発校等を参集し、特別支援障害者に対する訓練体験等を実施する。令和5年度は計23回開催。

③「職業訓練実践マニュアル」の発行

先導的な職業訓練の実施を通じて開発した特別支援障害者等に対する訓練内容、指導技法等を取りまとめ職業能力開発校等に提供する。

④「専門訓練コース設置・運営サポート事業」の実施

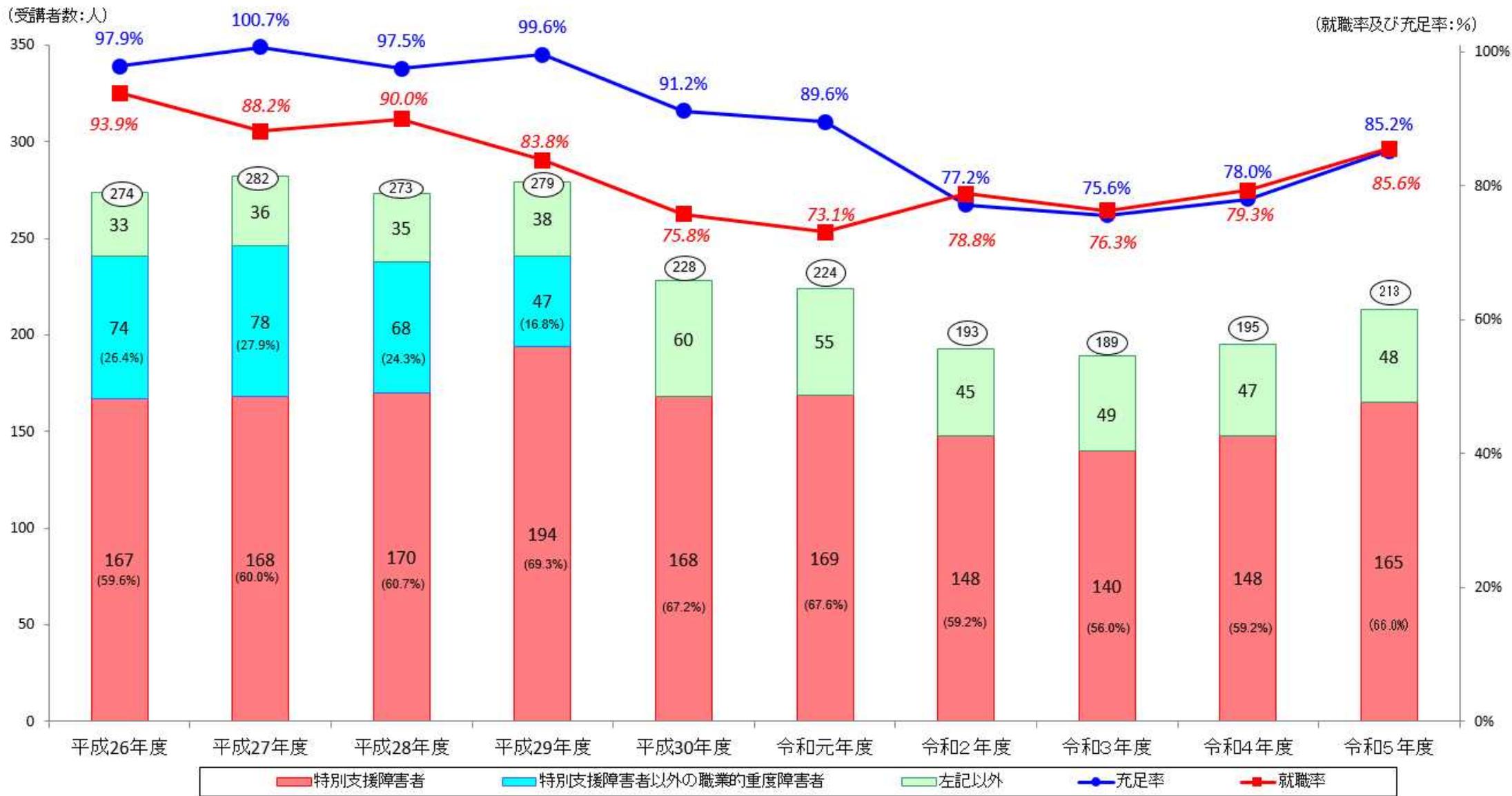
特別支援障害者等向け訓練コースの設置を計画または運営している職業能力開発校等に対し、職業訓練指導員を対象とした実務演習や当該校への訪問等による助言等を実施。

機構が運営する障害者職業能力開発校と広域障害者職業センターの概要(訓練計画)

令和6年度計画

施設名	訓練系	訓練科	訓練対象者	設定年度	訓練課程	訓練期間	定員	
							入校	延
中央障害者職業能力開発校 (国立職業リハビリテーションセンター) <埼玉県所沢市>	機械系	機械製図科	障害種別を 問わない ※OAシステム科 視 覚障害者情報アクセ スコースのみ、視覚 障害者限定	H25	普通 ／ 短期	1年 ／ 6月以下	5	5
	電気・電子系	電子機器科		S54			5	5
		テクニカルオペレーション科		H20			10	10
	建築施工系	建築設計科		H25			5	5
	第一種 情報処理系	OAシステム科		S54			25	25
		DTP・Web技術科		H20			15	15
	オフィス ビジネス系	経理事務科		S54			10	10
		OA事務科		H5			60	60
		オフィスワーク科		R5			20	20
	物流系	物流・資材管理科		R5	5	5		
職域開発系	アシスタントワーク科	R5	短期	1年	20	20		
吉備高原障害者職業能力開発校 (国立吉備高原職業リハビリテーションセンター) <岡山県加賀郡吉備中央町>	機械系	機械製図科	障害種別を 問わない ※システム設計科 ITビジネスコースの み、視覚障害者限定	S62	普通 ／ 短期	1年 ／ 6月以下	5	5
	電気・電子系	電子機器科		S62			15	15
	第二種 情報処理系	システム設計科		H14		2年 ／ 1年以下	5	10
	オフィス ビジネス系	経理事務科		S62		5	5	
		OA事務科		S62		1年 ／ 6月以下	15	15
	アシスタント系	アシスタントワーク科		R6	20	20		

機構が運営する障害者職業能力開発校と広域障害者職業センターの概要(実績)



※()内は定員に占める特支者数の割合。

機構が運営する障害者職業能力開発校と広域障害者職業センターの取組み

◆特別支援障害者の重点的な受入れ

- ・障害種別によらず、希望と適性に応じた訓練コースにおける受入れを開始するとともに、全訓練科において訓練生個々の特性に応じた職業訓練と適応支援を一体的に提供し、特別支援障害者の受入れを促進。

◆先導的な職業訓練の実施

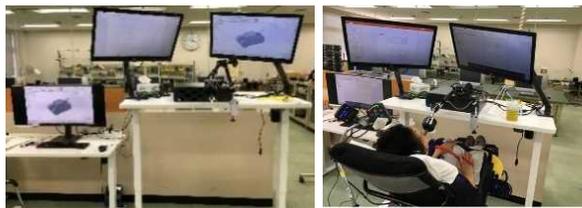
- ・特別支援障害者に対する指導技法等の普及に向け、障害者の職業的自立を図るための職業評価、職業指導及び職業訓練の一体的支援による先導的な職業訓練を実施。

(例)

- メカトロ系においてドローンを活用した設備点検等の訓練を実施
- 重度身体障害のある訓練生について、本人の障害状況に合わせて環境設定を行った上でテレワークを想定した機械設計の訓練を実施



ドローンを活用した設備点検の技能訓練



姿勢に合わせてフレキシブルに調整可能なモニター口元でのマウス操作を可能にするデバイスの活用

特別支援障害者に対する職業訓練の工夫

障害名：両上下肢機能全廃（1級）

経過：隣接する医療リハビリテーションセンターとの連携の下、入院中に機械CADに係る職業訓練及び就職に向けて支援を実施

医療リハビリテーションセンターと連携し、対象者の障害状況、現有スキル等を把握

医療リハビリテーションセンターと訓練上の配慮、連携方法等を共有

関係機関と訓練受講や就職活動に係る進め方、連携方法等を共有

- ・障害状況（首から下が動かない）を踏まえ、口元でのマウス操作を可能にするデバイスや、本人の作業姿勢に合わせて、フレキシブルに動くモニターアームを使用。
- ・就労支援機関、介護事業所と連携し、在宅就労が可能な環境構築を図った上で、地元での就職活動を開始。

◆障害者の職域拡大に向けた職業訓練の実施・指導技法等の開発

- ・円滑な技能習得に向け、訓練初期に丁寧に個々の特性を把握した上で適応支援を行うとともに段階的な訓練等を実施。また、蓄積したノウハウをもとに指導技法等の開発に努める。

◆就職率の向上に向けた取組

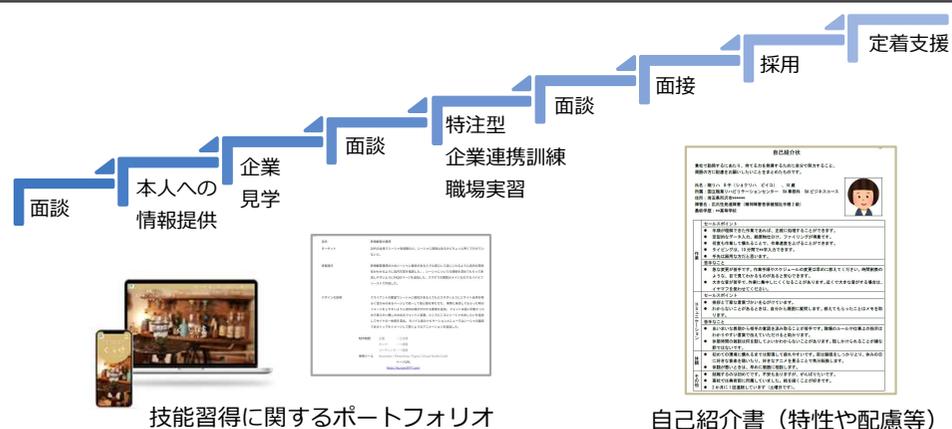
○訓練生に対する支援

- ・訓練開始後早期に訓練と並行して就職活動に向けた支援を実施。就職活動の流れや注意点に加え、自分に合った働き方の検討、自己理解の促進、模擬面接等講座を実施。企業向けPR資料（習得技能や障害特性等）の作成等を支援。

○企業への積極的な働きかけ

- ・ハローワークと連携しながら、雇用率未達成企業等を対象とした障害者採用準備講座（訓練生によるプレゼンテーションなど企業に対して訓練成果をアピールする場としても活用）や人事担当者と訓練生が面談等ができる会社説明会を開催。
- ・担当カウンセラーや訓練指導員が訓練生の地元である全国各地へ必要に応じて出向き、面接同行や企業に対して訓練受講経過の説明及び活用している支援機器の解説等を実施。

標準的な就職活動の進め方



機構営障害者校による職業訓練に関する指導技法等の普及

～特別支援障害者等向け訓練コース設置・運営に関する支援～

【専門訓練コース設置・運営サポート事業】

特別支援障害者等向け訓練コースを設置している、または、新たな設置を計画している障害者職業能力開発校及び職業能力開発校を対象に、当該校の訓練計画や訓練環境、支援ニーズ等に応じた支援プログラムを作成し、職業訓練指導員等を対象とした長期の実務演習と訪問等による助言等により特別支援障害者等向け訓練コースの設置及び円滑な運営についての支援を実施

◇ニーズ等の把握◇

機構営障害者校が当該校を訪問等し、当該施設の訓練計画や訓練環境等、指導技法等の提供に係る具体的なニーズの把握



◇訓練計画の策定等に関する支援◇

当該校の要請に応じ、訓練計画等の策定や連携・協力体制の構築に向けた会議・委員会等における助言を実施



◇ノウハウ提供支援◇

機構営障害者校の訓練場面等を活用し、当該校の指導員等にOJT方式による直接的な指導技法等の提供を実施。



◇フォローアップ支援◇

ノウハウ提供支援を実施した後、当該校のニーズ等に応じて訪問等による支援を実施。

平成30年度

岐阜県障がい者総合就労支援センター
愛知障害者職業能力開発校
石川障害者職業能力開発校
奈良県立高等技術専門校
兵庫障害者職業能力開発校

令和元年度

宮城障害者職業能力開発校
福井県立福井産業技術専門学院
福岡障害者職業能力開発校

令和2年度

京都府立京都障害者高等技術専門校
京都府立福知山高等技術専門校

令和4年度

兵庫県立障害者高等技術専門学院

令和5年度

熊本県立高等技術専門学院

※ 複数年にわたり支援を実施(上記は支援開始年度)

【指導技法等体験プログラム】

特別支援障害者の職業訓練技法等について理解を深め、新たな受入れや受入れの拡大に向けた今後の検討の参考にすることを目的に、障害者校及び一般校の職業訓練指導員等や障害者職業訓練の企画を担当する都道府県人材開発主管課の職員等を対象に、機構営障害者校を会場に訓練場面を活用した指導技法等の解説や訓練等の体験、意見交換、事例紹介等を実施

<プログラム>

<プログラム>	<令和5年度支援実績>	
1. 支援入門コース（精神・発達障害者等、障害者訓練の基礎的な対応を学びたい方向け）	7回実施	33機関参加
2. 専門支援実践コース（専門訓練コースを担当又は担当予定で実践的な対応を学びたい方向け）	5回実施	12機関参加
3. 委託訓練コース（委託訓練を実施又は実施を検討している方向け）	1回実施	8機関参加
4. 管理・運営コース（専門訓練コースの設置・運営に携わっている方向け）	3回実施	5機関参加
5. 導入期の訓練コース（訓練初期における訓練生の障害特性の把握等について学びたい方向け）	1回実施	2機関参加
6. オンライン訓練環境構築コース	1回実施	2機関参加
7. オーダーメイド	5回実施	13機関参加

機構営障害者校による職業訓練に関する指導技法等の普及

～先導的な職業訓練の内容、訓練技法等を他の能開施設等へ提供～

【職業訓練実践マニュアル等】...職業訓練上特別な支援を要する障害者に係る取組みのとりまとめ

重度視覚障害者	重度視覚障害者編Ⅰ～施設内訓練～	(H22年度)	発達障害者	発達障害者編Ⅰ～知的障害を伴う人の施設内訓練～	(H22年度)
	重度視覚障害者編Ⅱ～企業との協力による職業訓練等～	(H23年度)		発達障害者編Ⅱ～施設内訓練～	(H23年度)
精神障害者	精神障害者編Ⅰ～施設内訓練～	(H24年度)	高次脳機能障害者	高次脳機能障害者編Ⅰ～施設内訓練～	(H28年度)
	精神障害者編Ⅱ～企業との協力による職業訓練等～	(H25年度)		高次脳機能障害者編Ⅱ～企業との協力による職業訓練等～	(H29年度)
障害者委託訓練	精神障害や発達障害のある方への円滑な委託訓練のために～精神障害者等向け委託訓練参考マニュアル～				(H27年度)
導入期の職業訓練	精神障害・発達障害者への職業訓練における導入期の訓練編Ⅰ～特性に応じた対応と訓練の進め方～				(H30年度)
	精神障害・発達障害者への職業訓練における導入期の訓練編Ⅱ～対応法の習得に向けた具体的な取組み～				(R1年度)
	精神障害・発達障害者への職業訓練における導入期の訓練編Ⅲ～導入期の訓練のカリキュラムと具体的な進め方～				(R2年度)
精神・発達障害者等の受入促進	訓練生個々の特性に応じた効果的な訓練実施に向けた取組み		～基礎編～	(R3年度)	
	訓練生個々の特性に応じた効果的な訓練実施に向けた取組み		～実践編～	(R4年度)	

成果の普及

- マニュアルの配布: 配布先は障害者職業能力開発校、民間の障害者職業能力開発施設、一般の公共職業能力開発校、都道府県能開主管課
- ホームページへの掲載
- アンケート調査: R4年度発刊マニュアルについてR5年度末に調査実施。結果「支援内容・方法の改善に寄与した」旨の評価は98.6%

*職業訓練実践マニュアルには、訓練カリキュラムや訓練教材、支援ツール等を収録したCDも添付

【障害者職業訓練推進交流プラザ】...指導技法等の周知・解説 ※厚生労働省主催の障害者職業訓練指導員経験交流会と機構主催の障害者能力開発指導者交流集会との共同開催により実施

令和5年度

※会場参集形式と一部オンライン形式を併用し開催

○事例発表

- ・一般校における発達障害者の職業訓練に関する取組み～ワークサポート科開設から10年を経て～
(石川県立金沢産業技術専門学校)
- ・専門訓練コース設置・運営サポート事業による支援を受けて(京都府立京都障害者高等技術専門学校)
- ・障害者委託訓練の取組みについて(静岡県 経済産業部 就業支援局 職業能力開発課)
(静岡県立工科短期大学校 沼津キャンパス)
- ・在職者訓練について(吉備高原障害者職業能力開発校)

○指導技法等解説

- ・「職業訓練実践マニュアル 訓練生個々の特性に応じた効果的な訓練実施に向けた取組み～実践編～」解説(中央障害者職業能力開発校)



成果の普及

○参加状況

62機関 102名

○アンケート調査

今後の業務への参考になったとの回答
93.7%